

2013年8月26日

京都府知事 山田啓二 様

日本共産党京都府会議員団  
団長 前窪 義由紀

## 在日米軍基地強化のための饗庭野日米合同演習へのオスプレイ参加 に反対する申し入れ

陸上自衛隊と米海兵隊が10月に滋賀県高島市の陸上自衛隊饗庭野演習場でおこなう戦時想定の日米共同訓練に、米軍普天間基地に配備されたMV22オスプレイを参加させるとの報道がされている。我が党議員団は日米合同演習の実施及び演習へのオスプレイ参加に強く反対する。

そもそもオスプレイは、開発時から、配備された世界各地で墜落事故を起こしている欠陥機である。今回、滋賀県饗庭野演習場での訓練期間中、オスプレイは拠点を普天間から山口県の岩国基地に移すと報道されており、オスプレイの訓練が強行されれば、住民の命と安全の危険は西日本全域に及ぶ。また移動時に京都府の上空を通過することは必至である。

また、現在、京丹後市への米軍Xバンドレーダー基地の建設が予定されており、これら一連の動きはまさに「日本の安全を守る」ものでなく、在日米軍基地の強化・固定化そのものである。

沖縄では米軍ヘリが墜落し、その原因究明も行われぬまま、事故から一週間後にオスプレイの追加配備が強行され、沖縄は大きな怒りに包まれている。沖縄県民の総意は、今年1月、沖縄の全自治体と地方議会が安倍晋三首相に提出した「建白書」で明らかのように、「オスプレイの配備を直ちに撤回すること」「米軍普天間基地を閉鎖・撤去し、県内移設を断念すること」である。

在日米軍基地強化につながるオスプレイのさらなる受け入れや、訓練を全国に広げることは断じて許されない。ましてや安倍政権と防衛当局が、饗庭野演習場での合同演習へのオスプレイ参加を口実に、沖縄県知事に対して辺野古への新基地建設への協力を求めるなど言語道断である。

さらに7月26日に関西広域連合が「沖縄の負担軽減を早急に示すように」と政府に申し入れをしたことが、今回の饗庭野での訓練の後押しをしたと報道されており、「沖縄の負担軽減」を口実にオスプレイ参加を認めることは絶対に許されない。

よって下記の諸点を申し入れる。

### 記

- 一 在日米軍基地の強化につながる饗庭野演習場での日米合同演習へのオスプレイ参加と演習の中止を強く国と米国政府に求めること。
- 一 オスプレイの沖縄配備は中止・撤回すること。全国各地への新たな配備、オスプレイの訓練は行わないことを米国政府と国に求めること。
- 一 近畿地方で初の在日米軍施設となるXバンドレーダー基地建設を容認せず、建設そのものを認めないこと。

以上